

昇降機定期検査報告書（第一面）記入要領

取り消し線を用いて記入事項の訂正を行った場合は、検査者の訂正印を押印してください。報告者氏名の訂正の場合は報告者訂正印、所有者欄の訂正の場合は所有者訂正印、管理者欄の訂正の場合は管理者訂正印でも構いません。これ以外の者の訂正印は不可とします。

第三十六号の四様式（第六条、第六条の二の二関係）（A4）

定期検査報告書  
（昇降機）  
（第一面）

建築基準法第12条第3項（同法第88条第1項において準用する場合を含む。）の規定により、定期検査の結果を報告します。この報告書に記載の事項は事実と相違ありません。

① 特定行政庁 様 ② 年 月 日

③ 報告者氏名

④ 検査者氏名

⑤ 【1. 所有者】  
【イ. 氏名のフリガナ】  
【ロ. 氏名】  
【ハ. 郵便番号】  
【ニ. 住所】  
【ホ. 電話番号】

⑥ 【2. 管理者】  
【イ. 氏名のフリガナ】  
【ロ. 氏名】  
【ハ. 郵便番号】  
【ニ. 住所】  
【ホ. 電話番号】

⑦ 【3. 報告対象建築物等】  
【イ. 所在地】  
【ロ. 名称のフリガナ】  
【ハ. 名称】  
【ニ. 用途】

⑧ 【4. 報告対象昇降機】  
【イ. 検査対象昇降機の台数】（ ① 台）  
【ロ. 指摘の内容】 要是正の指摘あり ② 台（うち既存不適格 ③ 台）  
要重点点検の指摘あり ④ 台 指摘なし ⑤ 台  
【ハ. 指摘の概要】  
【ニ. 改善予定の有無】 有（ 年 月に改善予定） 無  
【ホ. その他特記事項】

※受付欄	※特記欄	※整理番号欄
年 月 日		
第 号		⑨
係員氏名		

項目	記入要領
①特定行政庁	特定行政庁名を確認し、記入してください。 報告対象建築物の所在地が、熊本市の場合は「熊本市長」宛、八代市の場合は「八代市長」宛、天草市の場合は「天草市長」宛、上記の3市以外の市町村の場合は「熊本県知事」宛となります。
②日付	当センターへの報告日（当センター窓口提出日、郵送等の場合は当センター受取日）を基本として記入してください。 報告者が報告を行おうと考えた日（報告書に記名した日）や発送日でも構いません。
③報告者氏名	所有者または管理者の氏名を記入してください。押印は省略しても構いません。 （従来の様式を利用し、押印を省略する場合は、「印」の文字を消去してください。） 所有者と管理者が異なる場合は、原則として、管理者としてください。 記名は、【1.所有者 ロ.氏名】または【2.管理者 ロ.氏名】欄と同じく、 個人の場合は「氏名」を、 法人の場合は「法人名+代表者役職名+代表者氏名」を、 区分所有の場合は、「管理組合名+代表者役職名+代表者氏名」を記入してください。
④検査者氏名	検査者の氏名を記入してください。押印は省略しても構いません。 （従来の様式を利用し、押印を省略する場合は、「印」の文字を消去してください。） 検査者が2人以上の場合は、第2面【3.検査者】欄の「代表となる検査者」と同一者としてください。
⑤【1.所有者】	建築物（昇降機）の登記上の所有者を記入してください。 所有者の変更があった場合は、変更後（新）の所有者を記載してください。（※） 変更前（旧）と変更後（新）の所有者を併記しても構いません。
【イ.氏名のフリガナ】	法人名を含みすべて記入してください。
【ロ.氏名】	個人の場合、「氏名」を、 法人の場合、「法人名+代表者役職名+代表者氏名」を、 区分所有の場合、「管理組合名+組合員共同所有」を記入してください。ただし、区分所有で所有者が報告者となる場合は「管理組合名+組合員共同所有+代表者役職名+代表者氏名」を記入してください。
【ハ.郵便番号】	【ニ.住所】欄に記入の住所の郵便番号を記入してください。
【ニ.住所】	住居表示で正確に記入してください。法人の場合は、登記上の所在地を記入してください。
【ホ.電話番号】	法人の場合、【ロ.氏名】に記入の代表者が所属する組織の電話番号を記入してください。 区分所有の場合、管理室の電話番号を記入してください。
⑥【2.管理者】	管理者は、所有者から昇降機または昇降機等の維持管理上の権限を委任された責任者（所有者が兼ねる場合もある。）を記入してください。 通常いわれる建物自体の管理人や管理会社の担当者とは異なります。 所有者が兼ねる場合は、「同上」もしくは「所有者と同じ」と記入されても構いません。 管理者の変更があった場合は、変更後（新）の管理者を記載してください。（※） 変更前（旧）と変更後（新）の管理者を併記されても構いません。 【イ.氏名のフリガナ】、【ハ.郵便番号】、【ニ.住所】、【ホ.電話番号】欄については、【1.所有者】の記載要領と同様とします。
【ロ.氏名】	個人の場合、「氏名」を、 法人の場合、「法人名+代表者役職名+代表者氏名」（支店等に権限が委任されている場合にあっては、「支店等名称+責任者役職名+責任者氏名」）を、 区分所有の場合、「管理組合名+代表者役職名+代表者氏名」を記入してください。
⑦【3.報告対象建築物等】	
【イ.所在地】	住居表示で正確に記入してください。 初回報告の際に、確認済証及び検査済証に記載の住所は地名地番であるので、住居表示を確認のうえ、記入してください。
【ロ.名称のフリガナ】	すべて記入してください。
【ハ.名称】	正確に記入してください。 名称の変更があった場合は、変更後（新）の名称を記載してください。 変更前（旧）と変更後（新）の名称を併記されても構いません。
【ニ.用途】	建築物の主たる用途を記入してください。
⑧【4.報告対象昇降機】	指摘の概要、改善予定の有無は、第二面の「検査の状況」と同様の記載としてください。
【イ.検査対象昇降機の台数】	報告する昇降機の台数を記入してください。（⑧=⑨+⑩） 別表「検査結果における指摘内容の記入方法」を参照してください。
【ロ.指摘の内容】	別表「検査結果における指摘内容の記入方法」を参照してください。
【ハ.指摘の概要】	「要是正」（「既存不適格」は除く）、「要重点点検」の指摘があるすべての号機に対して、指摘レベル、検査項目番号及び指摘の状態を簡潔に記入してください。 対象号機が複数の場合は、対象号機の当センター指定の整理番号も記入してください。
【ニ.改善予定の有無】	「要是正」「要重点点検」の指摘がある場合は、「有」「無」のいずれかに「✓」を記入してください。「有」の場合には、必ず改善予定の最も早い年月を記入してください。「指摘なし」の場合は、省略しても構いません。
【ホ.その他特記事項】	「要是正」の指摘以外の報告すべき事項がある場合に記入してください。
⑨整理番号欄	当センター指定の整理番号を記入してください。

※所有者、管理者が変更になった場合には、変更後2週間内に「所有者等変更届」の提出が必要となります。  
詳しくは、各特定行政庁のホームページ等でご確認ください。

昇降機定期検査報告書（第二面）記入要領

取り消し線を用いて記入事項の訂正を行った場合は、検査者の訂正印を押印してください。

(第二面)

昇降機の状況等

⑪【1. 昇降機に係る確認済証交付年月日等】

【イ. 確認済証交付年月日】 年 月 日 第 号  
 【ロ. 確認済証交付者】 建築主事 指定確認検査機関 ( )  
 【ハ. 検査済証交付年月日】 年 月 日 第 号  
 【ニ. 検査済証交付者】 建築主事 指定確認検査機関 ( )

⑫【2. 検査日等】

【イ. 今回の検査】 年 月 日実施  
 【ロ. 前回の検査】 実施 ( 年 月 日報告) 未実施  
 【ハ. 前回の検査に関する書類の写し】 有 無

⑬【3. 検査者】

(代表となる検査者)

【イ. 資格】 ( ) 建築士 ( ) 登録第 号  
 昇降機等検査員 第 号

【ロ. 氏名のフリガナ】

【ハ. 氏名】

【ニ. 勤務先】

( ) 建築士事務所 ( ) 知事登録第 号

【ホ. 郵便番号】

【ヘ. 所在地】

【ト. 電話番号】

(その他の検査者)

【イ. 資格】 ( ) 建築士 ( ) 登録第 号  
 昇降機等検査員 第 号

【ロ. 氏名のフリガナ】

【ハ. 氏名】

【ニ. 勤務先】

( ) 建築士事務所 ( ) 知事登録第 号

【ホ. 郵便番号】

【ヘ. 所在地】

【ト. 電話番号】

⑭【4. 保守業者】

【イ. 名称】

【ロ. 郵便番号】

【ハ. 所在地】

【ニ. 電話番号】

⑮【5. 昇降機の概要】 (番号 )

【イ. 種類】 建築設備 工作物

【ロ. 種別】 エレベーター ( 斜行 ) エスカレーター 小荷物専用

【ハ. 駆動方式】 ロープ式 油圧式 その他 ( )

【ニ. 用途等】 乗用 ( 人荷共用 非常用 ) 寝台用 自動車運搬用 荷物用

項目	記入要領
⑪【1. 昇降機に係る確認済証交付年月日等】	確認済証交付年月日等は、当該昇降機の既存不適格事項を確認するためには、重要な事項であり、必ず記入してください。 所有者等が「確認済証」及び「検査済証」の記録を保管していない場合には、所管行政庁において、関係図書の閲覧により確認をしてください。 「確認済証」及び「検査済証」の確認が出来なかった場合には、欄外に「行政記録なし」及び「製造年月」もしくは「設置年月」を必ず記入してください。 初回報告（検査済証交付後、最初の定期検査報告）の場合には、「検査済証」の写しを添付してください。ただし、「工事完了済証」の発行を受けている場合は、不要とします。
【イ. 確認済証交付年月日】 【ハ. 検査済証交付年月日】	建築基準法第87条の4及び第88条の第1項の規定に基づき、建築主事又は指定確認検査機関から交付された確認済証もしくは検査済証に記載されている年月日及び番号を記入してください。
【ロ. 確認済証交付者】 【ニ. 検査済証交付者】	「建築主事」、「指定確認検査機関」のいずれかのチェックボックスに「✓」を記入してください。また、指定確認検査機関の場合には、( )内にその名称を記入してください。 (参考) 平成11年4月までの交付は、すべて建築主事 平成11年5月以降の交付は、建築主事、指定確認検査機関のいずれか
⑫【2. 検査日等】	
【イ. 今回の検査】	検査を実施した年月日を記入してください。 複数日にまたがって検査を実施した場合は、その最終日を記入してください。
【ロ. 前回の検査】	前回検査を実施している場合は、「実施」のチェックボックスに「✓」を記入し、前回定期検査報告書に押印の当センター受付日を記入してください。 前回定期検査報告書で当センター受付日が確認できなかった場合は、当センターが発行した報告済証等で確認してください。 前年度の報告が確認できなかった場合は、「未実施」のチェックボックスに「✓」を記入してください。事前に十分な確認をしてください。 初回報告の場合は、「未実施」のチェックボックスに「✓」を記入してください。
【ハ. 前回の検査に関する書類の写し】	所有者又は管理者に、前回定期検査報告書等の関連書類の保管状況を確認し、「有」、「無」のいずれかのチェックボックスに「✓」を記入してください。
⑬【3. 検査者】	代表となる検査者並びに当該昇降機の検査を行った全ての検査者を記入してください。当該昇降機の検査を行った検査者が1名の場合は、その他の検査者欄は削除して構いません。
(代表となる検査者) 【イ. 資格】	建築士の場合は、一級、二級の明示と登録名、登録番号を記入してください。 昇降機等検査員の場合には、昇降機等検査員資格者証の交付番号を記入してください。
【ロ. 氏名のフリガナ】	必ず記入してください。
【ニ. 勤務先】	法人の場合は、当該調査者が所属する支店、営業所名を記入してください。 当該検査者が建築士の場合は、建築士事務所名と併せて、建築士事務所登録番号も記入してください。(ただし、当該検査者が所有者と直接の雇用関係にある場合等は除く。)
【ホ. 郵便番号】	所在地欄に記入の住所の郵便番号を記入してください。
【ヘ. 所在地】	住居表示で正確に記入してください。
【ト. 電話番号】	当該検査者が所属する組織の電話番号を記入してください。
(その他の検査者)	上記の代表となる検査者と同様に記入してください。
⑭【4. 保守業者】	当該昇降機の維持保全の実施者を記入してください。 上記の代表となる検査者の勤務先と同じ場合は、「同上」と記入しても構いません。ただし、検査者の勤務先と維持保全を行っている営業所等が異なる場合は、すべてを記入してください。 維持保全の実施者が個人の場合は、「名称」を「氏名」に、「所在地」を「住所」に読み替えて記入してください。 保守契約を行っていない場合は、当該建築物の設備管理責任者もしくは第一面に記入した管理者を記入してください。
⑮【5. 昇降機の概要】	番号欄には、「当センター指定の整理番号」を記入してください。
【イ. 種類】	建築物に設置されている昇降機の場合は「建築設備」のチェックボックスに「✓」を、建築基準法施行令第138条第2項第一号に掲げる「乗用エレベーター又はエスカレーターで観光のためのもの」の場合は「工作物」のチェックボックスに「✓」を記入してください。
【ロ. 種別】	「エレベーター」、「エスカレーター」、「小荷物専用」のいずれか該当するチェックボックスに「✓」を記入してください。 「エレベーター」のうち、階段の部分、傾斜路の部分その他これらに類する部分に沿って昇降する段差解消機（鉛直型は除く）及びいす式階段昇降機は、「エレベーター」と併せて、「斜行」のチェックボックスに「✓」を記入してください。
【ハ. 駆動方式】	種別が「エレベーター」の場合のみ記入してください。 「ロープ式」、「油圧式」、「その他」のいずれか該当するチェックボックスに「✓」を記入してください。 「ロープ式」、「油圧式」以外の場合には、「その他」と併せて、( )内に具体的な駆動方式（ラックピニオン式等）を記入してください。
【ニ. 用途等】	種別が「エレベーター」の場合のみ記入してください。 「乗用」、「寝台用」、「自動車運搬用」、「荷物用」のいずれか該当するチェックボックスに「✓」を記入してください。 乗用のうち、「人荷共用」又は「非常用」のいずれかに該当する場合は、該当するチェックボックスに「✓」を記入してください。 荷物用とは、乗用、寝台用、又は自動車運搬用以外のものをいいます。

⑮【5. 昇降機の概要】 (番号 )

【ホ. 機械室の有無】 有 無

【ヘ. 仕様】 (電動機の定格容量) (定格速度) (積載量) (定員) (階段の幅) (勾配)  
( kW) ( m/min) ( kg) ( 人) ( m) ( 度)

【ト. 停止階】 階 (停止階床数 )

【チ. 製造者名】

⑯【6. 検査の状況】

【イ. 指摘の内容】 要是正の指摘あり ( 既存不適格)  
要重点点検の指摘あり 指摘なし

【ロ. 指摘の概要】

【ハ. 改善予定の有無】 有 ( 年 月に改善予定)  
無

⑰【7. 不具合の発生状況】

【イ. 不具合】 有 無

【ロ. 不具合記録】 有 無

【ハ. 改善の状況】 実施済 改善予定 ( 年 月に改善予定) 予定なし

⑱【8. 備考】

項目	記入要領
【ホ. 機械室の有無】	種別が「エレベーター」の場合のみ記入してください。 「有」、「無」のいずれか該当するチェックボックスに「✓」を記入してください。
【ヘ. 仕様】	(電動機の定格容量)は、駆動用電動機容量を記入してください。 複数台ある場合は、「○kW、○kW、○kW×2」のように全てを記入してください。 (定格速度)は、可変速式エレベーターの場合には、「定格速度」を記入してください。 油圧式エレベーター等で上昇速度と下降速度が異なる場合には、 「UP 30m/min、DN 45m/min」のように両方の速度を記入してください。 エスカレーター多段式の場合には、「30、40、45m/min」のように全ての速度を記入してください。 (積載量)は、「エレベーター」及び「小荷物専用」の場合に記入してください。 (定員)は、「乗用」及び「寝台用」エレベーターの場合に記入してください。 (階段の幅)は、「エスカレーター」のみ記入してください。 (勾配)は、「エレベーター(斜行)」「エスカレーター」の場合に記入してください。
【ト. 停止階】	「エレベーター」及び「小荷物専用」の場合は、「B1・1・M2・3・5～10・R階」のように最下階から最上階までの乗降口のある階を記入してください。 (停止階床数)には、乗降口のある階数を記入してください。 「エスカレーター」の場合は、「1～2」、「3→2」のように上り、下りが分かるように設置階を記入してください。
【チ. 製造者名】	昇降機及び昇降機等の設計・製作をした者(会社名)を記入してください。 また、主要構造部、制御器、安全装置(建築基準法施行令第129条の10、第129条の12第五号及び第129条の13第三号、第四号に係る装置)、制御装置等の改造を行った場合は、その設計・製作者(会社名)も併せて記入してください。
⑯【6. 検査の状況】	
【イ. 指摘の内容】	「検査結果における指摘内容の記入方法」を参照のうえ、「要是正の指摘あり」、「(既存不適格)」、「要重点点検の指摘あり」、「指摘なし」の該当するチェックボックスに「✓」を記入してください。
【ロ. 指摘の概要】	「要是正」(「既存不適格」は除く)、「要重点点検」の指摘がある場合は、次の事項を記入してください。 ・指摘レベル(要是正もしくは要重点点検) ・指摘概要(検査項目番号と指摘の状態を簡潔に)
【ハ. 改善予定の有無】	「要是正」(「既存不適格」は除く)、「要重点点検」の指摘がある場合は、「有」、「無」のいずれか該当するチェックボックスに「✓」を記入してください。 「有」の場合は、「改善予定年月」も併せて記入してください。その際、同時に提出される「改善計画書」との整合性を取ってください。 「既存不適格」の場合は、「無」でも構いません。
⑰【7. 不具合の発生状況】	「不具合」とは、前回検査時以降に把握した機器の故障、異常動作、損傷、腐食その他劣化に起因する戸開走行、異常音、振動等をいいます。
【イ. 不具合】	不具合の第三面に記載すべき事案があった場合に「有」チェックボックスに「✓」を記入してください。
【ロ. 不具合記録】	不具合「有」の場合に、「有」、「無」のいずれか該当するチェックボックスに「✓」を記入してください。
【ハ. 改善の状況】	不具合「有」の場合に、「実施済」、「改善予定」、「予定なし」のいずれか該当するチェックボックスに「✓」を記入してください。 「改善予定」がある場合は、第三面の「改善(予定)年月」欄に記入された改善予定年月のうち最も早いものを併せて記入してください。
⑱【8. 備考】	本欄には、第一面、第二面に書き表せなかった事項で特に報告すべき事項について、記入してください。 本欄内にすべて記入できない場合には、別紙を用いて記入してください。 なお、次の事項については、必ず記入してください。 ④大臣認定取得の装置《毎回報告時》 当該昇降機に設置されている戸開走行保護装置、遮煙扉等の大臣認定を取得した装置については、「装置名」と「大臣認定番号」を記入してください。 (ただし、検査項目の対象外及び検査基準に影響がないものは、省略しても構いません。) なお、部品交換等により大臣認定番号の変更があった場合には、「変更年月」、「変更前大臣認定番号」、「変更後大臣認定番号」を記入してください。 ⑤確認申請を伴わない仕様変更《変更後初回報告時》 当該昇降機において、確認申請(建築基準法第87条の2及び第88条の第1項の規定による)を伴わないリニューアル工事や装置交換等の交換(単なる部品交換は除く)を行った場合には、「主な交換装置名」、「追加した装置名」及び「大臣認定を取得した装置の大臣認定番号」等を記入してください。 なお、「戸開走行保護装置の設置」、「地震時等管制運転装置の設置」及び「昇降路、ピット内の耐震工事」を行った場合には、必ず記入してください。 ◎その他特筆すべき事項《その都度》

昇降機定期検査報告書（第三面）記入要領

第三面は、前回検査時以降に把握した昇降機に係る不具合のうち、第二面の6欄において指摘されるもの（「要是正」及び「要重点点検」）以外のものについて、把握できる範囲において記入してください。  
 前回検査時以降不具合を把握していない場合は、第三面を省略することができます。

（第三面）

昇降機に係る不具合の状況

不具合を把握した年月	不具合の概要	考えられる原因	改善(予定)年月	改善措置の概要等
㉑	㉒	㉓	㉔	㉕

項目	記入要領
㉑不具合を把握した年月	当該不具合を把握した年月を記入してください。 同じ月に複数回の不具合が生じた場合には、必要に応じて時系列が分かるように日時等を記入してください。
㉒不具合の概要	当該不具合の箇所を可能な限り特定した上で、当該不具合の具体的内容を記入してください。 保守記録等から把握された不具合の内容に関しては、出来るだけ詳細に記入してください。 同一の原因で複数回の不具合が生じた場合には、その関連性が分かるように記入してください。
㉓考えられる原因	当該不具合が生じた原因として、主として考えられるもの（特定できる場合は明確に、それ以外の場合は主な推測原因）を記入してください。 ただし、当該不具合が生じた原因が不明な場合は「不明」と記入してください。
㉔改善(予定)年月	既に改善を実施している場合には実施年月を、改善を行う予定がある場合には改善予定年月を（ ）書きで記入し、改善を行う予定がない場合には「－」マークを記入してください。 同一の原因で複数回の不具合が生じた場合には、その最終改善を実施した年月（改善予定年月は（ ）書きで）を記入してください。
㉕改善措置の概要等	既に改善を実施している場合又は改善を行う予定がある場合に、具体的措置の概要を記入してください。 改善を行う予定がない場合には、その理由を記入してください。 同一の原因で複数回の不具合が生じた場合には、その都度実施した具体的措置の概要を記入してください。

注意事項

前回の検査以降、概ね1年間の保守記録等から報告の対象となる不具合であるか否かを十分確認のうえ、できるだけ確認可能な範囲で明確に記入してください。 （平成24年8月31日付事務連絡「建築物等における不具合情報の取扱いについて」（昇降機・遊戯施設定期検査業務基準書2017年版P669）参照）	
前回の検査以降、概ね1年間に発生した不具合の状況について、 「原因究明がされているか。」、 「調整や改善工事により正常な状態に復帰したか。」、 「再発防止策となっているか。」を確認してください。	
昇降機装置名、部品名の略称等の社内用語は用いずに、共通用語を用いて、平易な表現で記入してください。	
「不具合の概要」、「考えられる原因」、「改善措置の概要等」の各項目にあった適切で一貫した内容で記入してください。	
同一原因で生じた不具合が複数号機に関連する場合には、代表号機の第三面に記入してください。 この場合、「不具合の概要」の欄に関連する号機の番号（当センター整理番号）を記入してください。	
第三面の報告がある場合には、報告書及び概要書第二面【7. 不具合の発生状況】【イ. 不具合】欄の「有」チェックボックスに☑マークを記入してください。	
第三面の報告がある場合には、概要書第二面【7. 不具合の発生状況】【イ. 不具合の概要】欄に不具合の内容を要約したうえで記入してください。	
※不具合とは	異常停止、装置の機能の異常停止、異常音、異常な振動、機器の損傷（焼損、破損等）等で通常の状態と違うものをいいます。
※改善とは	不具合の状況が発生した時に、部品の交換、装置の調整等により、通常の状態に戻すことをいいます。
※報告の対象とは	「機能の異常や停止したものすべて」、「維持保全の作業で覚知した不具合のすべて（異常に至る前の消耗品の交換は含みません。）」をいいます。

検査結果における指摘内容の記入方法

	指摘内容				検査結果表				報告書・概要書 (第二面)				報告書・概要書 (第一面)			
									【6.イ. 指摘の内容】				【4.ロ. 指摘の内容】 (台数カウント)			
	指摘なし	要重点点検	要是正	既存不適格	指摘なし	要重点点検	要是正	既存不適格	要是正	既存不適格	要重点点検	指摘なし	要是正	既存不適格	要重点点検	指摘なし
1号機	●				○							✓				1
2号機				●			○ ※1	○	✓ ※4	✓			1	1		
3号機		●				○					✓				1	
4号機			●				○		✓				1			
5号機		●	●				○ ※3		✓		✓ ※6		1			
6号機		●		●		○ ※1	○	✓ ※4	✓	✓			1	1		
7号機			●	●		○ ※2		✓ ※5					1			
8号機		●	●	●		※3	○	※2	✓	※5	✓ ※6		1			
備考	<p>・報告書・概要書（第一面）【4.イ. 検査対象昇降機の台数】【4.ロ. 指摘の内容】欄の台数については、下記の記入例に従って記入してください。 《上記の場合の記入例》 検査対象昇降機の台数 8台 要是正の指摘あり 6台 [2、4、5、6、7、8号機] (うち既存不適格 2台) [2、6号機] 要重点点検の指摘あり 1台 [3号機] 指摘なし 1台 [1号機]</p>															
	<p>・「検査結果表」欄には、指摘内容に合わせて○印を記入してください。ただし、下記の状態の場合には、下記のとおり記入してください。 ※1 「既存不適格」の場合は「要是正」欄にも○印を記入してください。 ※2 「要是正」と「既存不適格」の両方の指摘がある場合は「要是正」欄のみに○印を記入してください。 ※3 「要是正」と「要重点点検」の両方の指摘がある場合は「要是正」欄のみに○印を記入してください。</p>															
	<p>・報告書・概要書（第二面）【6.イ. 指摘の内容】欄には、指摘内容に合わせて✓マークを記入してください。ただし、下記の状態の場合には、下記のとおり記入してください。 ※4 「既存不適格」の場合は「要是正」欄にも✓マークを記入してください。 ※5 「要是正」と「既存不適格」の両方の指摘がある場合は「要是正」欄のみに✓マークを記入してください。 ※6 「要是正」と「要重点点検」の両方の指摘がある場合は「要是正」と「要重点点検」の両方の欄に✓マークを記入してください。</p>															